



成果指標				
成果指標	伊予市における観光入り込み客数			
指標設定の考え方	観光関係団体の活動により、伊予市への観光入り込み客数の増加。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目 標	1600000	1600000	1700000	0
実 績	1578591	1578143	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成26年度に観光協会の事務局が、伊予商工会議所より独立することとなり、運営体制について関係団体等と協力調整していかなければならない。また、観光協会としての主要な活動である伊予市の観光情報の収集と発信について強化して聴く必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	H25には、双海と中山支部の事務局を各地域事務所から商工観光課へ移行し、H26には、観光協会伊予支部及び本部事務局が伊予商工会議所から離れ、専任職員2名を雇用して独立運営されるようになったものの新規職員のために一部混乱をきたしている。今後、独立した組織として関係機関との連携のもとスムーズな運営が図られるとともに、積極的な情報発信やイベント実施に向けていかなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題